

廃プラ施設から環境と健康を守る会

代表代行 山崎 武様

初春の候、貴会ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

各問いに私の考え方をご回答します。問いそのものが理解できないところがありますので、問いにコメントを付けて回答します。

【1】 C

現在、3市間に不信感が生じており、将来、東大和市のごみ処理に影響を及ぼす恐れがあることを感じます。

従って、現時点でAかBかの結論はできません。地域住民の意向と3市間のこれまでの経緯を踏まえて結論を得たいと考えています。

【1-2】

【1】に同じ

【2】 経過を厳密に把握していない現時点で、AかBかの結論はできません。

【3】 経過を正確に把握できない状況にありますので、提示できる施策の用意が出来ません。

【4】 先ず、不信感を除去し信頼関係を築くことが第一と考えます。

その上に立って、資源物処理に係わる最新技術やごみ減量方策などを研究し、将来の道を開きたいと思います。

【5】 経過を分析し、誠実な話し合いを重ねることから始めます。

【6】 A

ペットボトルを含め、生産者責任についてももう一度考える必要があると思います。一番お金が掛かる部分を税金で行うことに疑問を感じています。

【7】 B

【8】 A コメント(将来の財政負担としているが、今も厳しい財政の中から13億からのお金を使っています。ムダと考えます。将来的には焼却施設も含め、ない方が良くないと考えます。)

【9】 C

A、Bも含め総合的な対策が必要と考えます。

平成23年2月6日

東大和市長立候補予定者

尾崎 保夫

